



准フォレスター研修前期1回目 研修初日(H24.6.11)

①
間もなく今年度(H24年)最初の研修がスタートします。
関東ブロックの管内から研修生がここ沼田に参集します。

研修生は座席表に指定された席に着します。両隣りも向かいも初対面ということもあって緊張が漂っています。
これから5日間よろしくお願いします！



②
いよいよ研修スタート！
まずは関東森林管理局の池田直弥計画部長から開講の挨拶です。

挨拶では、研修生が将来のフォレスターとなって、地域の振興と活性化に寄与するとともに、中立的な立場で地域の森林・林業関係者と一緒になって活動することへの熱い期待を伝えました。



③
開講挨拶の後はオリエンテーション。
今回の研修の進行や時間管理を担当する(研修では「プロセスマネージャー」と呼んでいます)川嶋 直さんです。

まずは、研修の意義や目的など予め用意していた紙を使用してわかりやすく丁寧に説明します。
巧みなトークで緊張した空気も和らぎます。



④
ひと通り研修の説明などが終われば、講義のスタートです。

初日は林野庁の小島孝文講師からフォレスターの役割や森林づくりの構想についての講義を行います。



⑤
1日(と言っても今日は半日)の締めくくりは「振り返り」。
今日の1日を通して分かったことや興味を持ったことなど、忘れないうちにメモします。

そうそう、机の並び方が変わっていますよね。
この研修はグループ(班)に分かれて演習することが多いので、最初から班毎にかたまって座ります。



⑥
記入を終えた後は、班毎に1人ずつ読み上げていきます。
班の各人がどのようなことを考え、どんなことに感心をもったのか等、他人と比較することで気づかされることも多いのです。

また、これから5日間、班単位の演習が続くので早くお互いのことを理解しあう意味でも効果的です。



研修2日目(H24.6.12)

①

2日目のスタート。
講義に入る前、朝一番は班内で
一人一言スピーチを行います。
昨日の講義の感想や今日の目
標などについて話をします。

雰囲気や和らげるとともに、頭
の整理や気持ちの切り替えにな
ります。



②

2日目の午前中も昨日に引き続
き、小島孝文講師による市町村
森林整備計画と森林経営計画
に関する講義を行います。



③

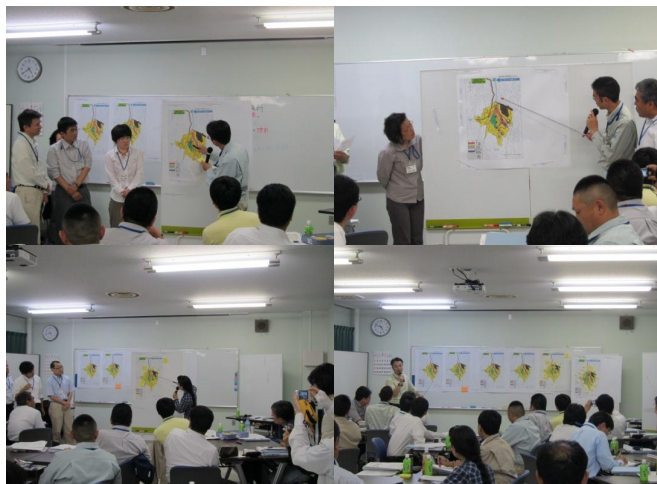
午前中の講義が終わったところ
で質問タイム。
「疑問点や分からないことは持
ち帰らない」というのがこの研修
の基本としているところです。



④

午後からは研修最初のグルー
プ演習スタートです。(といっても
初めの2時間程度は概要説明
の講義です)

テーマは間伐の実行監理演
習。どのように道を計画すれば
よいのか、意見を出し合い結果
を図面に書込みます。



⑤

各班から中間発表を行ったあ
と、林野庁の高井秀章講師によ
る講評です。
検討の結果導き出された成果
は全体で共有します。

また、明日の現地踏査でどの箇
所を重点的に調査するのか等
班の中で検討を行います。



⑥

今日も最後は「振り返り」です。
1日を通して気づいたことや明
日やってみたいことなど班内で
1人ずつ発言し、各人の思いを
班全体で共有します。



研修3日目(H24.6.13)

①
今日は1日現場。午前と午後の2箇所あります。
午前中の現場に到着。現地を見ながら将来の森づくりについて考えます。

しかし、生憎2日前に関東地方は入梅。
幸運にも沼田市街は降っていなかったのだが・・・
現場に着くと霧雨、雨に加え視界まで悪い状態でした。



②
雨の中、そして霧の中、現地調査には苦労します。
この森林を将来どのような森にしていけばいいのか、班毎で話し合います。



③
各班から検討結果の発表です。
現在の森林の評価、将来の目標林型と当面必要な施業について考えを順に発表していきます。



④
午後からの現場は昨日図面を見ながら検討を加えたところです。
場所が変わったせいか、朝からの雨(霧雨)も止み動きやすくなりました。

視界も良好になりました！
早速、昨日気になったところを確認するため移動します。



⑤
現地での確認を踏まえ、昨日の検討結果を修正したものを発表します。

机上では分からないことが現地に行くことで分かります。
現地踏査の必要性を実感します。



⑥
一通り発表が終わった後には講師による講評を行います。

また、外部講師として参加されていた白石則彦講師、田中浩講師からもそれぞれ専門的な立場からコメントをいただきました。

研修4日目(H24.6.14)



①
4日目最初の講義は「コミュニケーションとプレゼンテーション」です。
プロセスマネージャーの川嶋さんが講師です。

ご自身が発案した紙芝居プレゼンテーション法(略称:KP法)を使って言葉を伝え方や話し方等について分かりやすく説明してもらいました。



②
説明が終わったところで実際にKP法を使っでの演習です。

「40歳代の兼業林家に森林施業を提案する」というテーマで演習します。
どの班もイラストや写真を交え聞き手に伝わるよう工夫を凝らしています。



③
次の講義は外部講師による「木材の流通・販売」について山田稔講師による広範囲(日本全国)の木材の需要動向や材の流通・マーケットの話など盛りだくさんの話を伺うことができました。



④
午後は住安幸男講師による労働安全、リスクアセスメントに関する講義からスタートです。



⑤
講義のあとはグループ演習です。
施業の集約化、作業システムの検討、後継者の育成など各班テーマを決めて議論を進めます。



⑥
現状を把握し、問題点を洗い出し、問題解決に向けた対処方法等について話し合います。
翌日の発表に向けてどの班も熱心な議論が続きます。



研修最終日(H24.6.15)

①
あっという間に研修最終日の朝を迎えました。
でも余裕がありません。
間もなく始まる発表に備えての
打合せに専念しています。



②
いよいよ発表が始まります。
発表者はフォレスターの立場と
なって地域の森林・林業を振
興・活性化するために関係者へ
支援や協力を呼びかけます。

一方、聞き手は地元の山林所
有者や林業関係者など様々な
立場になりきって話を聞き、質
問などをおこないます。



③
発表は昨日実演したKP法で行
います。
時間に追われながら苦労してま
とめた内容です。
発表にも力が入ります。



④
いよいよ前期の研修も終わりに
近づいてきました。
この5日間の研修全体を通して
の振り返りを行います。
初日から今日までのことを思い
出しながらメモします。



⑤
最後は一言スピーチ。
1人1人が次回(後期)の研修ま
でやるべきことを紙に書いて全
員の前で宣言します。



⑥
皆さん、お疲れ様でした。
次回の研修でまたお会いしま
しょう！！
その時までお元気で！